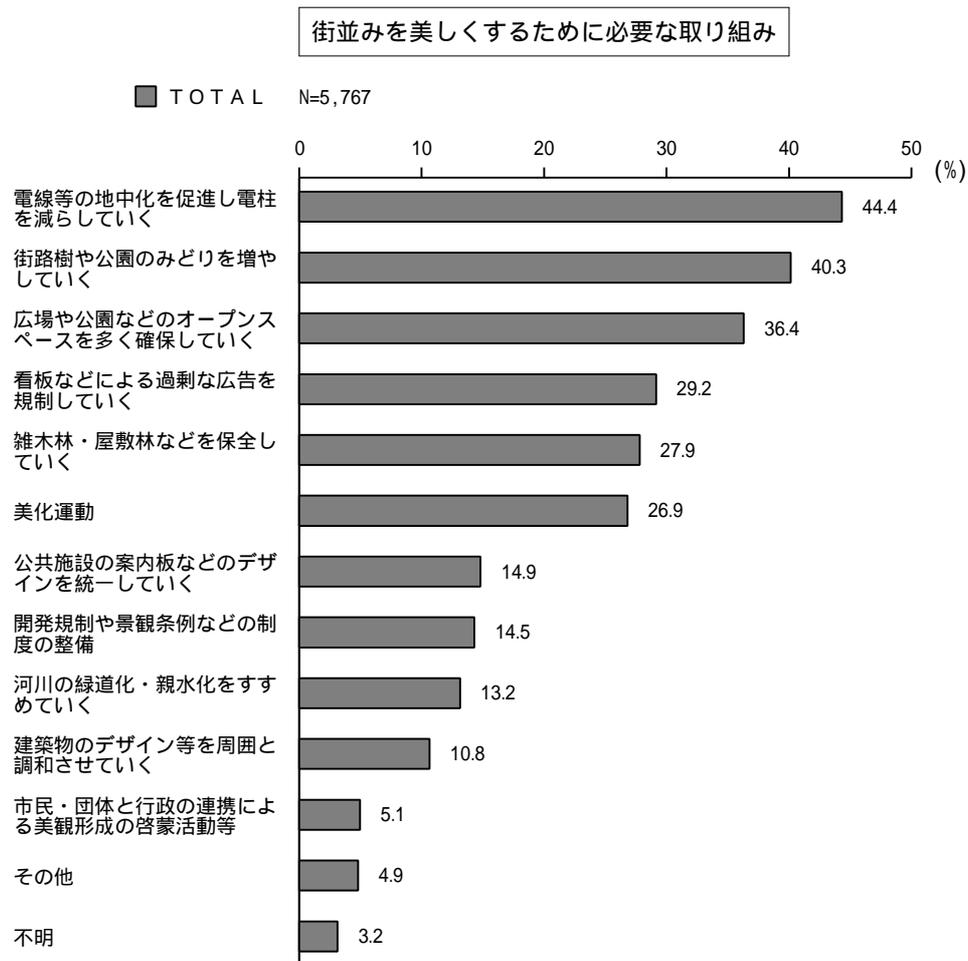


4 まちの整備や環境対策に ついてお聞きします

4. まちの整備や環境対策についてお聞きします

(1) 街並みを美しくするために必要な取り組み

街並みを美しくするために必要な取り組みについては、「電線等の地中化を促進し電柱を減らしていく」が44.4%で最も多く、続いて「街路樹や公園のみどりを増やしていく」が40.3%となっている。



クロス 年代別×街並みを美しくするために必要な取り組み

街並みを美しくするために必要な取り組みについて年代別に見ると、40代以上で「看板などによる過剰な広告を規制していく」や「雑木林・屋敷林などを保全していく」などが他の年代に比べて多くなっている。

一方、10代から30代では「街路樹や公園のみどりを増やしていく」や「広場や公園などのオープンスペースを多く確保していく」などが他の年代に比べて多くなっている。

また、10代では「美化運動」が40.2%と他の年代に比べて特に多くなっている。

	TOTAL	電線等の地中化を促進し電柱を減らしていく	街路樹や公園のみどりを増やしていく	広場や公園などのオープンスペースを多く確保していく	看板などによる過剰な広告を規制していく	雑木林・屋敷林などを保全していく	美化運動	公共施設の案内板などのデザインを統一していく	開発規制や景観条例などの制度の整備	河川の緑道化・親水化をすすめていく	建築物のデザイン等を周囲と調和させていく	市民・団体と行政の連携による美観形成の啓蒙活動等	その他	不明
TOTAL	5767	44.4	40.3	36.4	29.2	27.9	26.9	14.9	14.5	13.2	10.8	5.1	4.9	3.2
10代	102	23.5	51.0	46.1	20.6	23.5	40.2	17.6	8.8	22.5	15.7	2.0	3.9	2.9
20代	619	35.1	48.1	40.4	22.8	20.0	29.6	16.8	12.3	15.3	15.3	2.4	7.3	1.3
30代	1039	42.5	43.2	44.8	21.8	22.7	26.1	19.2	13.4	15.3	10.6	3.7	6.8	1.9
40代	827	45.7	35.7	38.9	29.7	31.6	25.0	14.6	16.4	13.8	10.9	6.4	5.3	2.2
50代	960	50.3	37.5	30.0	31.7	32.3	27.7	13.6	17.8	13.9	11.0	4.7	3.9	2.2
60代	1126	49.7	40.2	33.2	33.3	29.2	26.0	13.3	15.4	11.4	8.9	7.5	3.5	3.4
70代以上	1005	42.0	39.4	32.2	35.0	30.5	26.0	12.4	11.8	10.1	9.2	5.2	3.7	6.6

(注) 1. 網掛けは40%以上のもの。

2. 不明89サンプルは除く。

クロス 居住地域別×街並みを美しくするために必要な取り組み

街並みを美しくするために必要な取り組みについて居住地域別に見ると、いずれの地域でも「電線等の地中化を促進し電柱を減らしていく」、「街路樹や公園のみどりを増やしていく」などが多くなっている。

また、住吉町、栄町などでは「広場や公園などのオープンスペースを多く確保していく」、も他の地域に比べて若干多くなっている。

	TOTAL	電線等の地中化を促進し電柱を減らしていく	街路樹や公園のみどりを増やしていく	広場や公園などのオープンスペースを多く確保していく	規制などによる過剰な広告を看板などにより削減していく	雑木林・屋敷林などを保全していく	美化運動	公共施設の案内板などのデザインを統一していく	開発規制や景観条例などの制度の整備	河川の緑道化・親水化をすすめていく	建築物のデザイン等を周囲と調和させていく	市民・団体と行政の連携による美観形成の啓蒙活動等	その他	不明
TOTAL	5767	44.4	40.3	36.4	29.2	27.9	26.9	14.9	14.5	13.2	10.8	5.1	4.9	3.2
田無町	367	38.7	46.6	44.1	31.9	21.5	32.4	15.3	9.5	12.0	11.4	4.9	3.8	2.5
南町	371	42.6	41.2	41.0	29.4	25.3	27.0	13.7	14.0	18.6	8.4	7.3	1.9	2.4
西原町	217	43.3	36.9	31.3	36.9	25.3	28.6	14.7	20.3	8.3	15.7	6.0	3.7	2.3
緑町	119	46.2	45.4	26.1	33.6	27.7	32.8	10.9	13.4	10.9	9.2	5.0	7.6	5.0
谷戸町	345	48.4	42.3	40.0	34.8	21.2	24.6	14.2	16.8	8.7	10.1	5.2	5.8	2.3
北原町	157	42.0	46.5	38.2	33.8	22.3	29.9	16.6	11.5	7.6	13.4	5.1	4.5	4.5
向台町	361	45.4	34.1	30.2	29.6	29.1	23.8	14.7	15.8	17.7	13.0	5.3	4.4	3.3
芝久保町	484	46.5	44.4	34.7	26.0	27.7	25.4	18.0	14.5	12.6	9.9	4.3	5.2	3.3
新町	214	50.5	43.0	28.5	39.3	27.6	22.9	13.1	21.5	18.2	12.1	4.7	2.3	1.4
柳沢	348	39.7	41.4	31.9	27.0	27.6	27.0	17.2	14.7	24.1	10.1	4.9	3.2	3.2
東伏見	207	38.2	36.2	34.8	23.2	29.5	31.9	18.4	13.0	19.8	8.2	4.8	5.8	3.9
保谷町	398	44.5	46.0	40.7	27.9	29.4	29.4	13.8	12.8	12.8	9.3	5.3	4.8	2.3
富士町	311	43.7	38.9	35.0	29.6	25.1	29.3	16.7	18.6	12.2	12.2	4.5	4.8	3.2
中町	209	40.2	34.9	40.7	23.4	30.6	29.2	13.9	13.9	11.5	7.7	5.7	4.3	4.3
東町	199	47.7	38.7	34.7	27.1	29.6	22.1	12.1	10.6	7.0	16.6	7.0	9.0	4.0
泉町	292	47.9	37.0	38.4	26.4	32.5	23.6	17.5	11.3	13.0	9.6	3.4	5.5	3.1
住吉町	214	43.5	40.2	45.8	29.4	31.8	26.2	15.4	10.7	12.6	8.4	4.2	3.7	1.9
ひばりが丘	199	40.7	41.2	30.2	33.2	33.2	21.1	9.5	15.6	12.6	14.6	4.5	7.5	5.0
ひばりが丘北	141	46.8	34.8	37.6	31.2	19.9	25.5	14.9	12.8	9.9	14.2	2.8	7.8	3.5
栄町	96	51.0	26.0	45.8	28.1	30.2	20.8	10.4	20.8	7.3	9.4	4.2	9.4	2.1
北町	165	50.9	38.8	40.6	24.8	35.2	29.1	13.9	17.6	10.3	7.9	6.7	4.8	1.8
下保谷	258	46.5	39.9	31.0	22.9	39.9	27.9	14.7	13.6	9.3	10.1	5.0	6.6	4.3

(注) 1. 網掛けは40%以上のもの。

2. 不明95サンプルは除く。

(2) 市内の駅の整備

市内の5つの駅にどのような整備をすればよいかについて、各駅のグラフをまとめると、「駅周辺の道路」、「駐輪場」、「エスカレーター・エレベーター」は多くの駅で整備をすればよいと考えられていることがわかる。

また、ひばりヶ丘駅で「駐輪場」、「駅周辺の踏切」、「エスカレーター・エレベーター」、保谷駅で「駅前広場」、「駅周辺の道路」、「歩道の整備」、田無駅で「駐輪場」、「駅周辺の踏切」、西武柳沢駅で「商業施設」、「エスカレーター・エレベーター」、東伏見駅で「商業施設」、「エスカレーター・エレベーター」が他に比べて多くなっている。

駅ごとに見ると、ひばりが丘駅では、「駐輪場」(27.9%)、「エスカレーター・エレベーター」(26.9%)がほぼ同数で最も多く、続いて「駅周辺の道路」(22.8%)、「駅周辺の踏切」(21.3%)となっている。

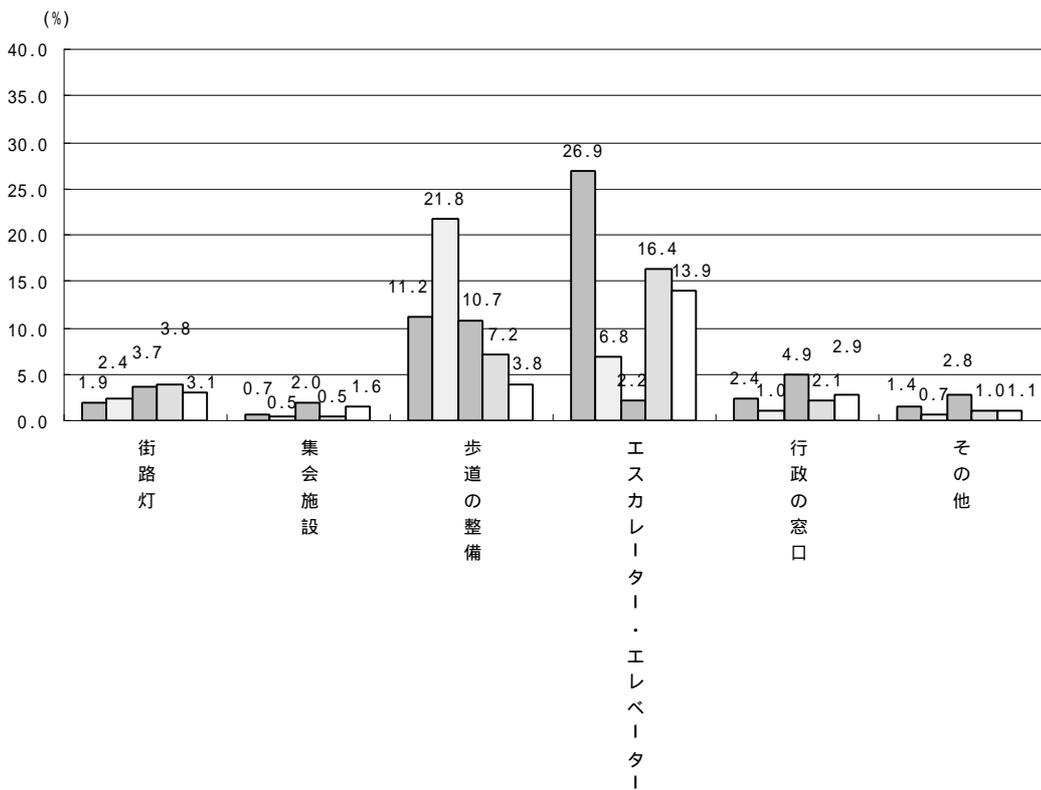
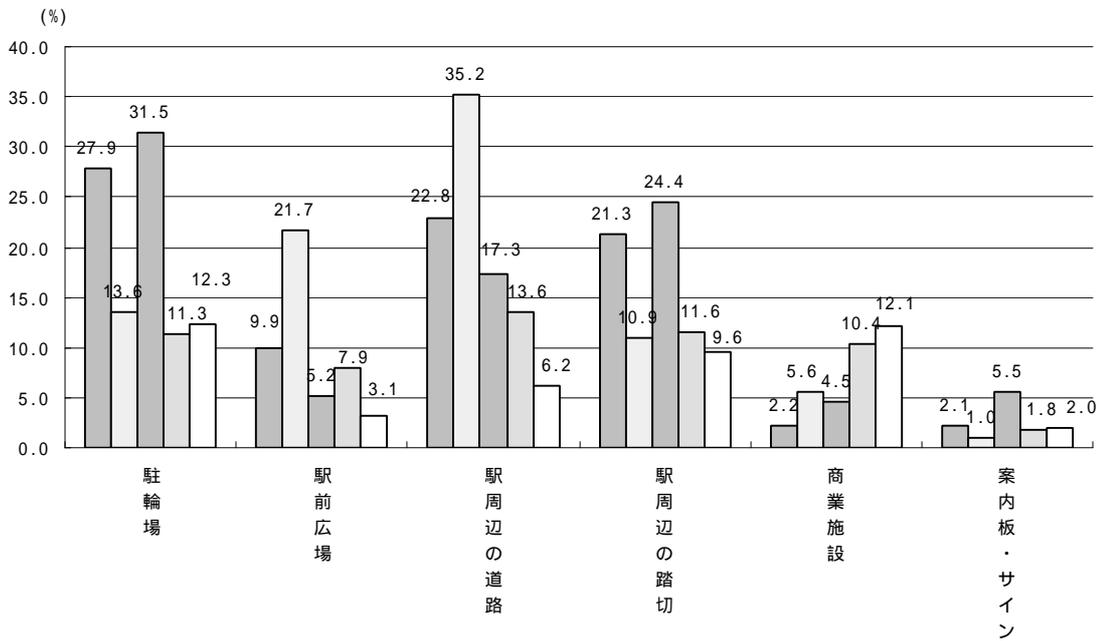
保谷駅では、「駅周辺の道路」が35.2%で最も多く、続いて「歩道の整備」(21.8%)、「駅前広場」(21.7%)がほぼ同数となっている。

田無駅では、「駐輪場」が31.5%で最も多く、続いて「駅周辺の踏切」(24.4%)、「駅周辺の道路」(17.3%)となっている。

西武柳沢駅では、「エスカレーター・エレベーター」が16.4%で最も多く、続いて「駅周辺の道路」(13.6%)、「駅周辺の踏切」(11.6%)となっている。

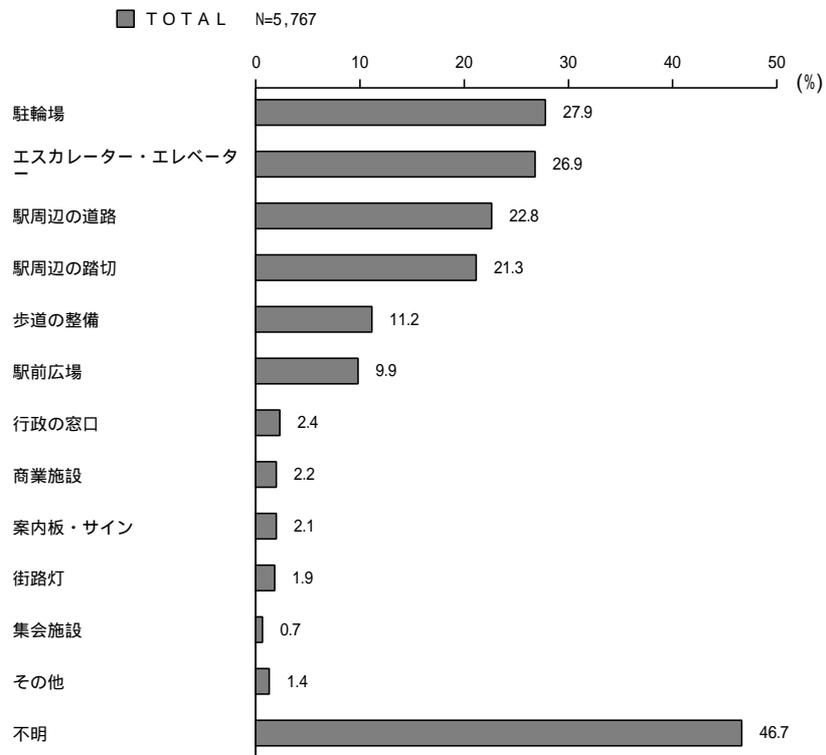
東伏見駅では、「エスカレーター・エレベーター」が13.9%で最も多く、続いて「駐輪場」(12.3%)、「商業施設」(12.1%)がほぼ同数となっている。

また、いずれの駅についても約半数が「不明」となっているが、それぞれの駅の日常的な利用状況によるものと思われる。

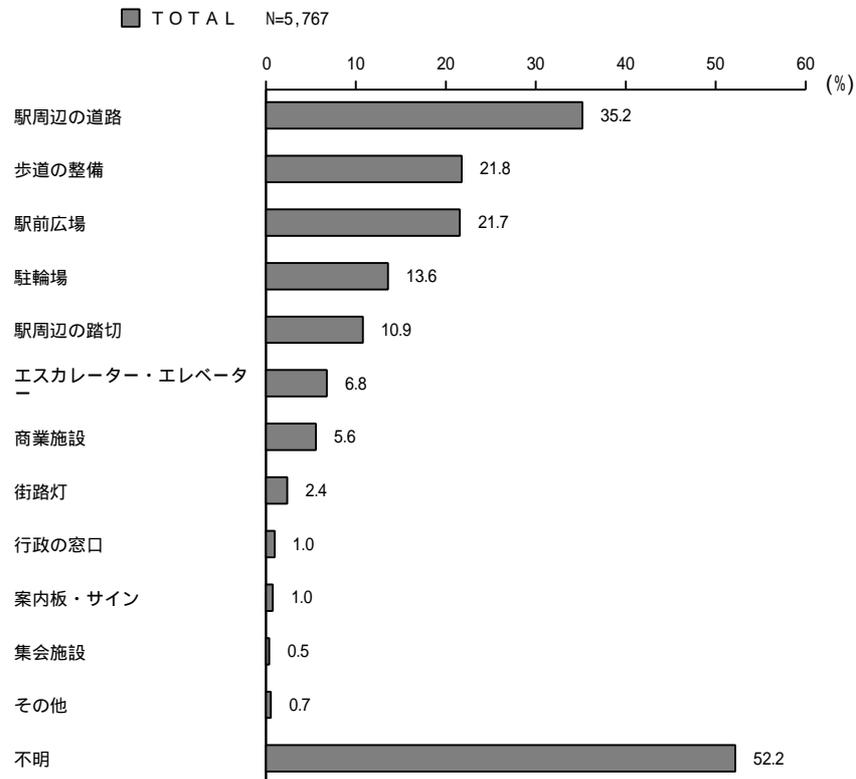


ひばりヶ丘駅
 保谷駅
 田無駅
 西武柳沢駅
 東伏見駅

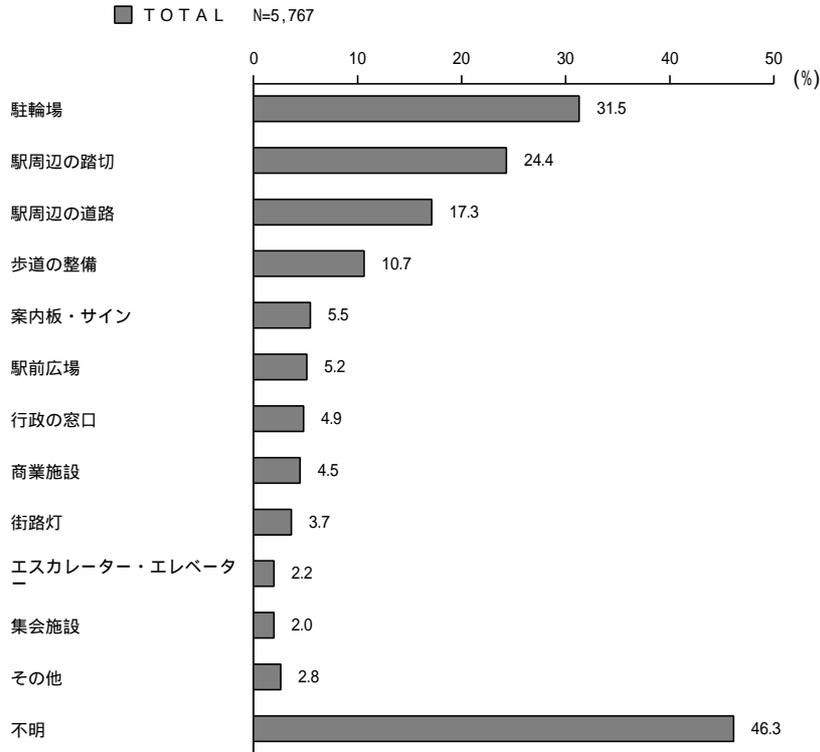
駅の整備 ひばりヶ丘駅



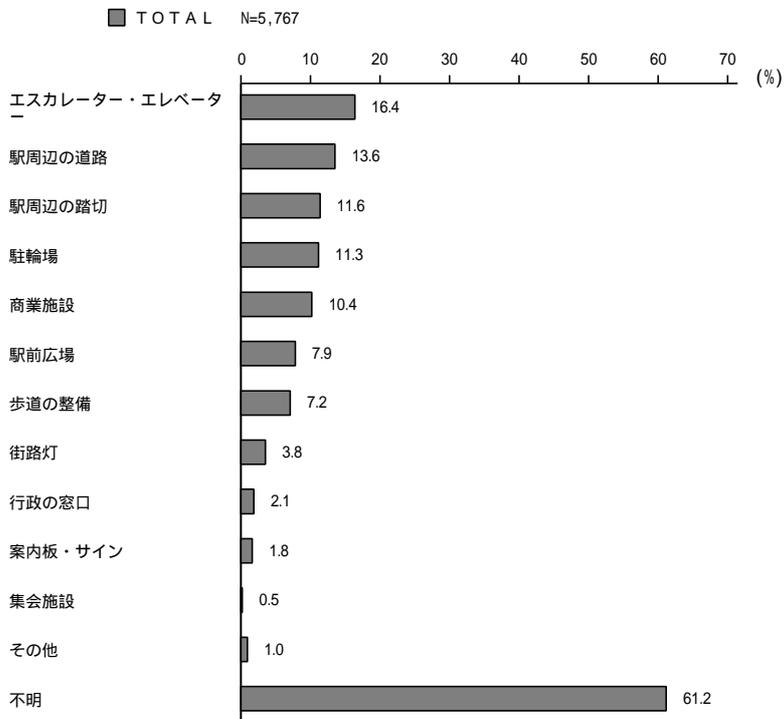
駅の整備 保谷駅



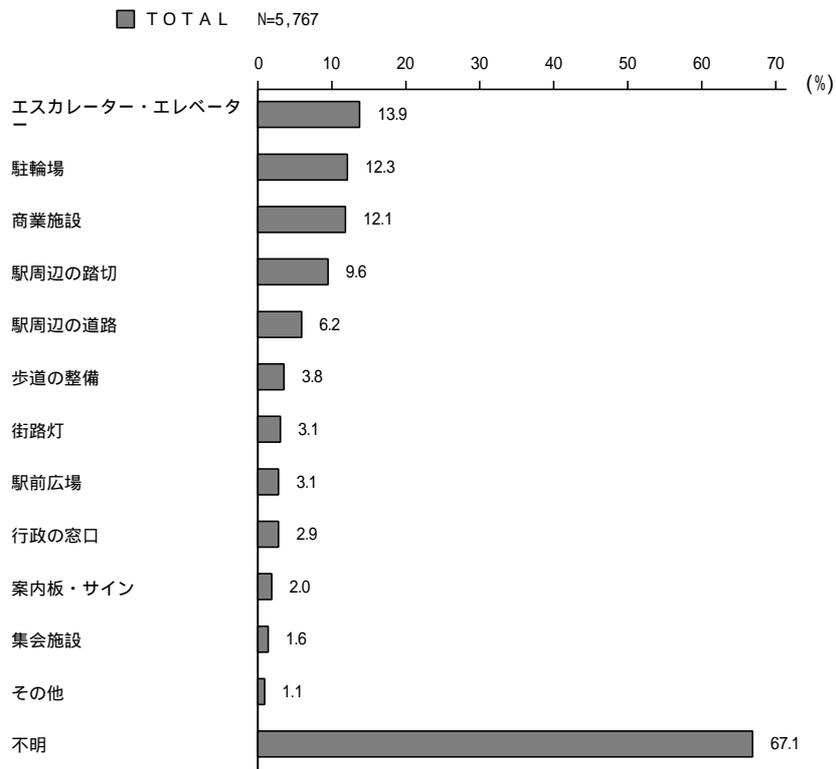
駅の整備 田無駅



駅の整備 西武柳沢駅



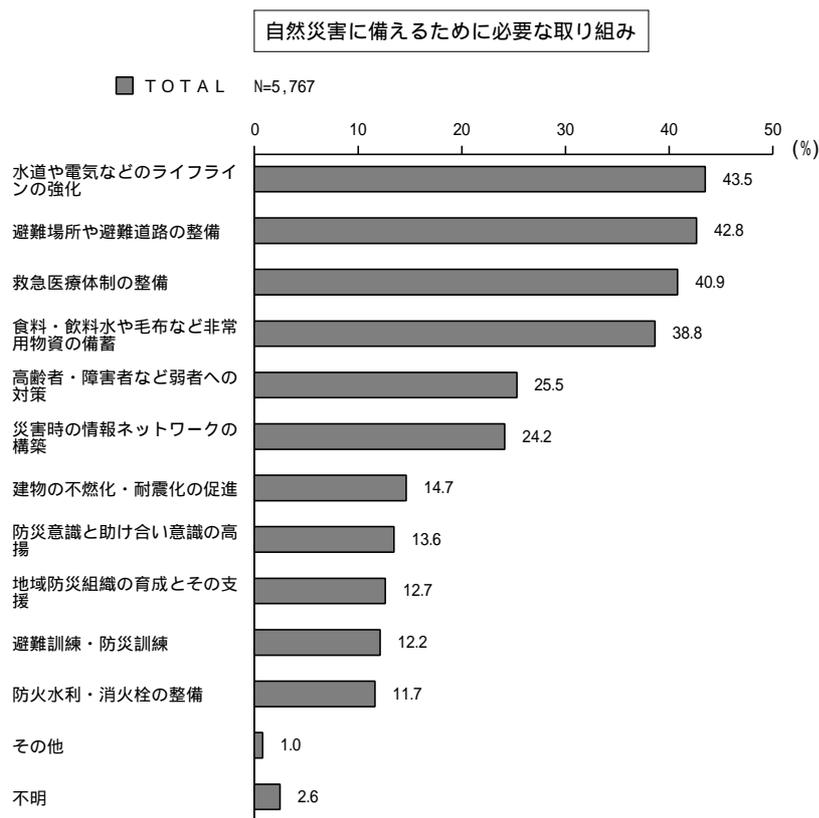
駅の整備 東伏見駅



(3) 自然災害に備えるために必要な取り組み

自然災害に備えるために必要な取り組みについては、「水道や電気などのライフラインの強化」が43.5%で最も多く、続いて「避難場所や避難道路の整備」(42.8%)、「救急医療体制の整備」(40.9%)などとなっている。

一方、「地域防災組織の育成とその支援」(12.7%)、「非難訓練・防災訓練」(12.2%)、「防火水利・消火栓の整備」(11.7%)などは少なくなっている。



クロス 年代別×自然災害に備えるために必要な取り組み

自然災害に備えるために必要な取り組みについて年代別に見ると、年代が低くなるほど「建物の不燃化・耐震化の促進」が多くなっている。

また、70代以上では「高齢者・障害者など弱者への対策」が45.0%と他の年代に比べて特に多くなっている。

	TOTAL	水道や電気などのライフラインの強化	避難場所や避難道路の整備	救急医療体制の整備	食料・飲料水や毛布など非常用物資の備蓄	高齢者・障害者など弱者への対策	災害時の情報ネットワークの構築	建物の不燃化・耐震化の促進	防炎意識と助け合い意識の高揚	地域防災組織の育成とその支援	避難訓練・防災訓練	防火水利・消火栓の整備	その他	不明
TOTAL	5767	43.5	42.8	40.9	38.8	25.5	24.2	14.7	13.6	12.7	12.2	11.7	1.0	2.6
10代	102	43.1	41.2	38.2	47.1	22.5	17.6	31.4	13.7	6.9	2.0	11.8	2.9	2.9
20代	619	43.1	47.5	46.0	43.6	17.6	27.3	20.7	11.1	7.8	9.9	8.1	1.8	1.1
30代	1039	51.5	43.7	44.8	42.7	14.3	26.0	17.6	12.0	11.0	11.3	9.5	0.8	1.3
40代	827	50.7	46.9	47.0	36.0	17.5	27.2	16.4	12.3	12.9	9.2	9.4	0.8	1.7
50代	960	44.9	42.2	40.3	34.5	23.8	27.2	14.7	14.5	14.4	14.5	13.1	0.9	2.1
60代	1126	38.4	40.9	39.5	36.3	29.4	24.3	11.9	16.5	17.5	13.8	12.6	0.8	3.1
70代以上	1005	35.6	39.9	32.0	40.5	45.0	15.9	8.2	13.7	11.1	13.9	15.1	0.7	4.8

(注) 1. 網掛けは40%以上のもの。

2. 不明89サンプルは除く。

クロス 居住地域別×自然災害に備えるために必要な取り組み

自然災害に備えるために必要な取り組みについて居住地域別に見ると、いずれの地域でも「水道や電気などのライフラインの強化」、「避難場所や避難道路の整備」、「救急医療体制の整備」などが多くなっている。

	TOTAL	水道や電気などのライフラインの強化	避難場所や避難道路の整備	救急医療体制の整備	食料・飲料水や毛布など非常用物資の備蓄	高齢者・障害者など弱者への対策	災害時の情報ネットワークの構築	建築物の不燃化・耐震化の促進	防災意識と助け合い意識の高揚	地域の防災組織の育成と支援	避難訓練・防災訓練	防火水利・消火栓の整備	その他	不明
TOTAL	5767	43.5	42.8	40.9	38.8	25.5	24.2	14.7	13.6	12.7	12.2	11.7	1.0	2.6
田無町	367	41.4	42.0	39.2	44.1	29.2	25.1	14.2	13.9	11.7	13.1	9.8	0.3	2.5
南町	371	38.5	40.2	41.2	38.8	30.2	26.7	15.4	14.3	14.6	12.7	9.7	0.5	1.9
西原町	217	50.7	36.4	41.5	37.3	27.6	28.6	17.5	15.7	10.1	11.5	9.7	0.5	1.4
緑町	119	38.7	41.2	33.6	39.5	31.1	19.3	15.1	15.1	11.8	21.0	9.2	0.8	5.9
谷戸町	345	45.2	47.2	37.7	43.2	23.2	24.9	15.1	11.3	14.2	13.3	11.3	1.4	1.2
北原町	157	43.9	39.5	49.0	33.1	26.1	25.5	12.1	13.4	13.4	9.6	8.3	0.6	4.5
向台町	361	47.9	39.9	40.2	38.8	23.8	24.4	14.4	15.5	11.6	11.6	11.9	0.8	1.9
芝久保町	484	45.9	44.2	37.0	36.2	22.3	21.9	15.9	13.6	13.8	13.2	12.2	1.4	4.1
新町	214	46.7	42.1	44.4	35.0	22.9	29.4	11.2	14.5	10.7	10.3	14.0	0.0	2.8
柳沢	348	46.8	36.2	46.8	36.8	27.0	22.7	14.9	15.2	12.9	13.2	10.1	1.1	1.7
東伏見	207	44.9	38.2	46.9	37.2	27.1	25.1	12.6	12.6	13.5	13.5	10.1	1.4	1.9
保谷町	398	39.2	45.2	42.2	39.9	29.1	22.6	15.1	17.1	12.1	13.6	13.1	1.3	1.0
富士町	311	46.6	46.6	42.1	39.5	21.9	26.0	15.8	12.9	10.6	10.3	14.1	0.3	1.9
中町	209	44.0	39.7	40.7	41.6	29.7	18.2	12.9	12.9	15.3	9.6	17.2	0.5	2.4
東町	199	46.2	49.7	41.2	37.7	20.6	22.1	13.6	13.1	13.6	8.5	10.6	1.5	3.0
泉町	292	43.5	44.5	45.5	38.7	21.2	25.0	16.1	10.3	12.0	13.0	9.9	0.7	3.8
住吉町	214	42.5	39.7	39.3	37.9	23.4	25.2	14.0	10.7	15.4	13.1	15.0	0.9	2.8
ひばりが丘	199	37.7	41.7	39.2	43.2	26.6	24.6	15.6	14.6	11.1	12.6	12.6	1.5	3.0
ひばりが丘北	141	38.3	44.7	42.6	40.4	29.1	20.6	15.6	15.6	13.5	9.2	13.5	0.0	1.4
栄町	96	44.8	54.2	29.2	40.6	21.9	22.9	19.8	9.4	17.7	6.3	15.6	3.1	1.0
北町	165	44.8	55.8	41.8	32.1	17.0	24.2	12.7	12.7	10.9	10.9	10.9	1.2	3.0
下保谷	258	41.9	46.9	38.4	39.9	27.5	24.8	15.1	12.0	9.3	13.2	7.4	0.4	3.5

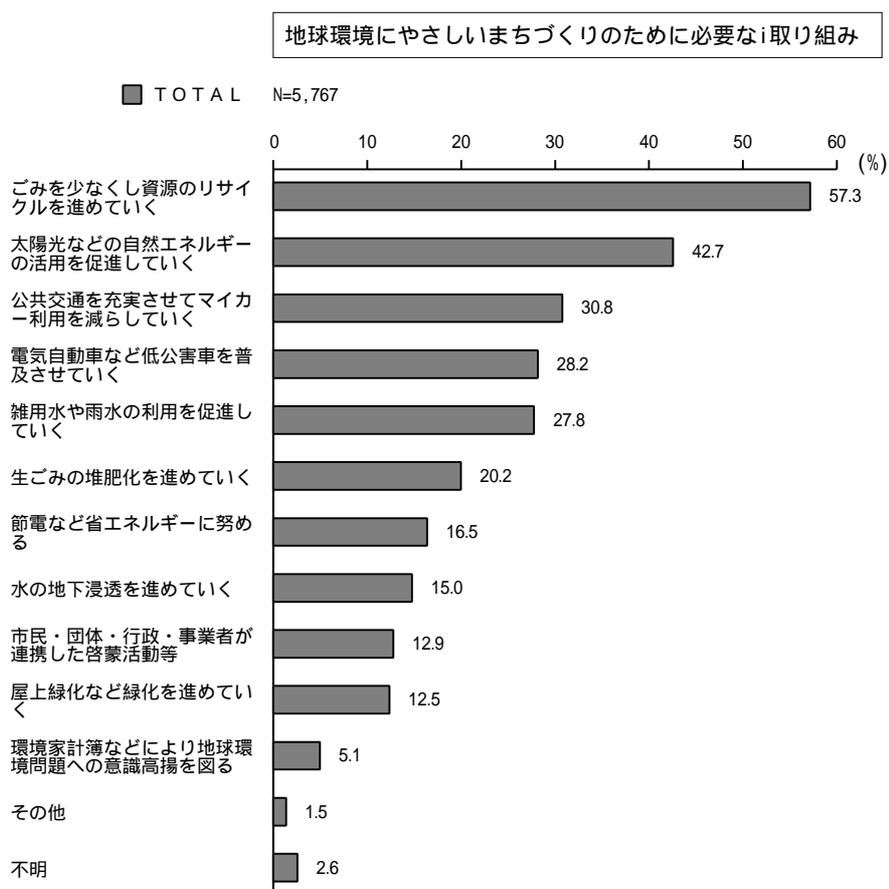
(注) 1. 網掛けは40%以上のもの。

2. 不明95サンプルは除く。

(4) 地球環境にやさしいまちづくりのために必要な取り組み

地球環境にやさしいまちづくりのために必要な取り組みについては、「ごみを少なくし資源のリサイクルを進めていく」が 57.3%で最も多く、続いて「太陽光などの自然エネルギーの活用を促進していく」が 42.7%となっている。

一方、「市民・団体・行政・事業者が連携した啓蒙活動等」(12.9%)、「屋上緑化など緑化を進めていく」(12.5%)、「環境家計簿などにより地球環境問題への意識高揚を図る」(5.1%)などは少なくなっている。



クロス 年代別×地球環境にやさしいまちづくりのために必要な取り組み

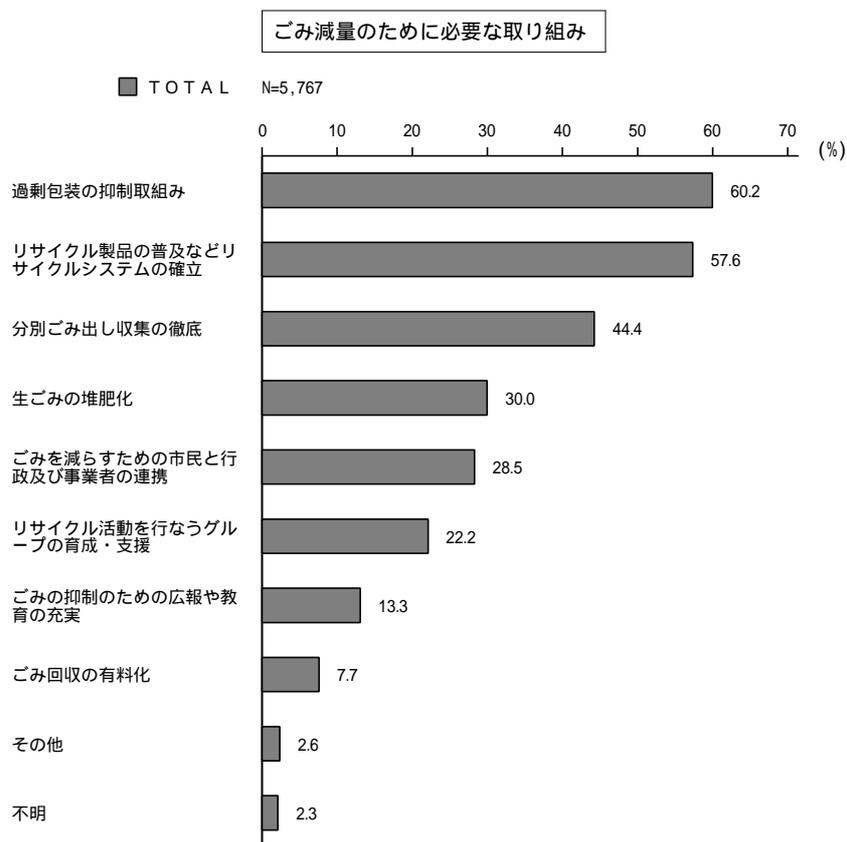
地球環境にやさしいまちづくりのために必要な取り組みについて年代別に見ると、年代が高くなるほど「公共交通を充実させてマイカー利用を減らしていく」が多く、年代が低くなるほど「節電など省エネルギーに努める」、「屋上緑化など緑化を進めていく」が多くなっている。

														(%)
	TOTAL	ゴミを少なくし資源のリサイクルを進めていく	太陽光などの自然エネルギーの活用を促進していく	公共交通を充実させてマイカー利用を減らしていく	電気自動車など低公害車を普及させていく	雑用水や雨水の利用を促進していく	生ごみの堆肥化を進めていく	節電など省エネルギーに努める	水の地下浸透を進めていく	市民・団体・行政・事業者が連携した啓蒙活動等	屋上緑化など緑化を進めていく	環境家計簿などにより地球環境問題への意識高揚を図る	その他	不明
TOTAL	5767	57.3	42.7	30.8	28.2	27.8	20.2	16.5	15.0	12.9	12.5	5.1	1.5	2.6
10代	102	70.6	39.2	10.8	28.4	25.5	28.4	22.5	8.8	5.9	24.5	4.9	3.9	1.0
20代	619	61.6	44.1	24.9	25.2	22.0	17.4	20.2	11.1	8.4	21.2	5.5	1.6	1.6
30代	1039	62.9	44.0	26.7	28.5	21.8	18.4	19.9	11.5	11.2	18.7	6.1	2.1	1.2
40代	827	56.6	47.3	28.2	26.2	29.4	20.1	15.4	15.0	12.9	12.7	4.7	2.5	1.8
50代	960	56.8	44.4	30.1	25.1	33.0	20.4	14.2	17.9	14.7	10.4	6.3	1.6	2.4
60代	1126	57.4	38.7	35.0	30.6	29.9	21.2	14.6	15.7	18.1	8.9	5.2	1.0	2.8
70代以上	1005	49.6	40.8	39.3	32.1	28.8	21.4	15.5	18.8	10.1	5.6	2.7	0.3	4.6

(注) 1. 網掛けは40%以上のもの。
2. 不明89サンプルは除く。

(5) ごみ減量のために必要な取り組み

ごみ減量のために必要な取り組みについては、「過剰包装の抑制取り組み」が60.2%で最も多く、続いて「リサイクル製品の普及などリサイクルシステムの確立」が57.6%となっている。



クロス 年代別×ごみ減量のために必要な取り組み

ごみ減量のために必要な取り組みについて年代別に見ると、10代と70代以上で「分別ごみ出し収集の徹底」、50代以上で「ごみを減らすための市民と行政及び事業者の連携」がそれぞれ他の年代に比べて多くなっている。

また、10代から40代では「リサイクル製品の普及などリサイクルシステムの確立」も他の年代に比べて多くなっている。

	TOTAL	過剰包装の抑制取り組み	リサイクルシステムの確立	分別ごみ出し収集の徹底	生ごみの堆肥化	ごみを減らすための市民と行政及び事業者の連携	リサイクル活動を行なうグループの育成・支援	ごみの抑制のための広報や教育の充実	ごみ回収の有料化	その他	不明
TOTAL	5767	60.2	57.6	44.4	30.0	28.5	22.2	13.3	7.7	2.6	2.3
10代	102	51.0	63.7	57.8	36.3	19.6	22.5	13.7	5.9	2.9	2.9
20代	619	59.6	62.4	46.5	26.2	21.2	22.5	13.1	4.4	2.3	1.0
30代	1039	61.8	64.6	44.0	26.8	24.2	22.7	13.3	5.3	3.6	0.9
40代	827	64.0	64.8	41.2	30.7	25.9	18.9	13.1	8.9	2.9	1.8
50代	960	62.0	61.0	38.6	33.1	30.7	21.6	13.0	9.0	2.6	1.6
60代	1126	60.0	54.3	43.3	30.8	37.1	23.3	13.2	8.9	2.0	2.3
70代以上	1005	56.6	42.8	51.8	30.5	29.4	23.3	14.2	9.1	1.9	4.5

(注) 1. 網掛けは50%以上のもの。

2. 不明89サンプルは除く。
